

2021年 9月29日

京成電鉄株式会社

より便利で快適な移動空間をご提供するために

「3100形」新造車両を導入します

営業運転開始(予定) 3156編成 2021年 9月30日(木)
3155編成 2021年11月12日(金)

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:小林 敏也)では、新造車両2編成を導入し、3156編成(8両)は9月30日(木)より、3155編成(8両)は11月12日(金)より、営業運転を開始します。

「3100形」は、京成グループ標準車両として「受け継ぐ伝統と新たな価値の創造」をコンセプトに設計され、2019年から導入しています。外観デザインでは、誤乗防止を目的に、成田スカイアクセスの案内カラーであるオレンジを取り入れており、車内設備では、スーツケース置場をかねる折り畳み式の座席を設置しているほか、防犯カメラ、プラズマクラスターイオン発生装置などを設置し、快適で安全な車内環境を提供しています。また、今回導入する2編成には、異常時に迅速な避難が行えるよう、1号車と8号車の座席下(各1カ所)に非常はしごの増設を行っています。



非常はしご



LCD(液晶)車内案内表示器・防犯カメラ

※ プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmacluster はシャープ株式会社の登録商標です。